

令和7年度 専門研修（断続研修） 保健体育研修講座プログラム

授業研究の考え方と進め方

福岡教育大学 教職大学院
本多壮太郎

R7.5.13（火） 於 福岡県体育研究所

よい体育授業は学級集団意識を高める

- 体育授業評価と学級集団意識→

強い相関関係

- 単元前後で体育授業評価が向上した児童→

学級集団意識がプラスに変容する傾向

- 単元前後で体育授業評価が停滞・下降した児童→

学級集団意識がマイナスに変容する傾向

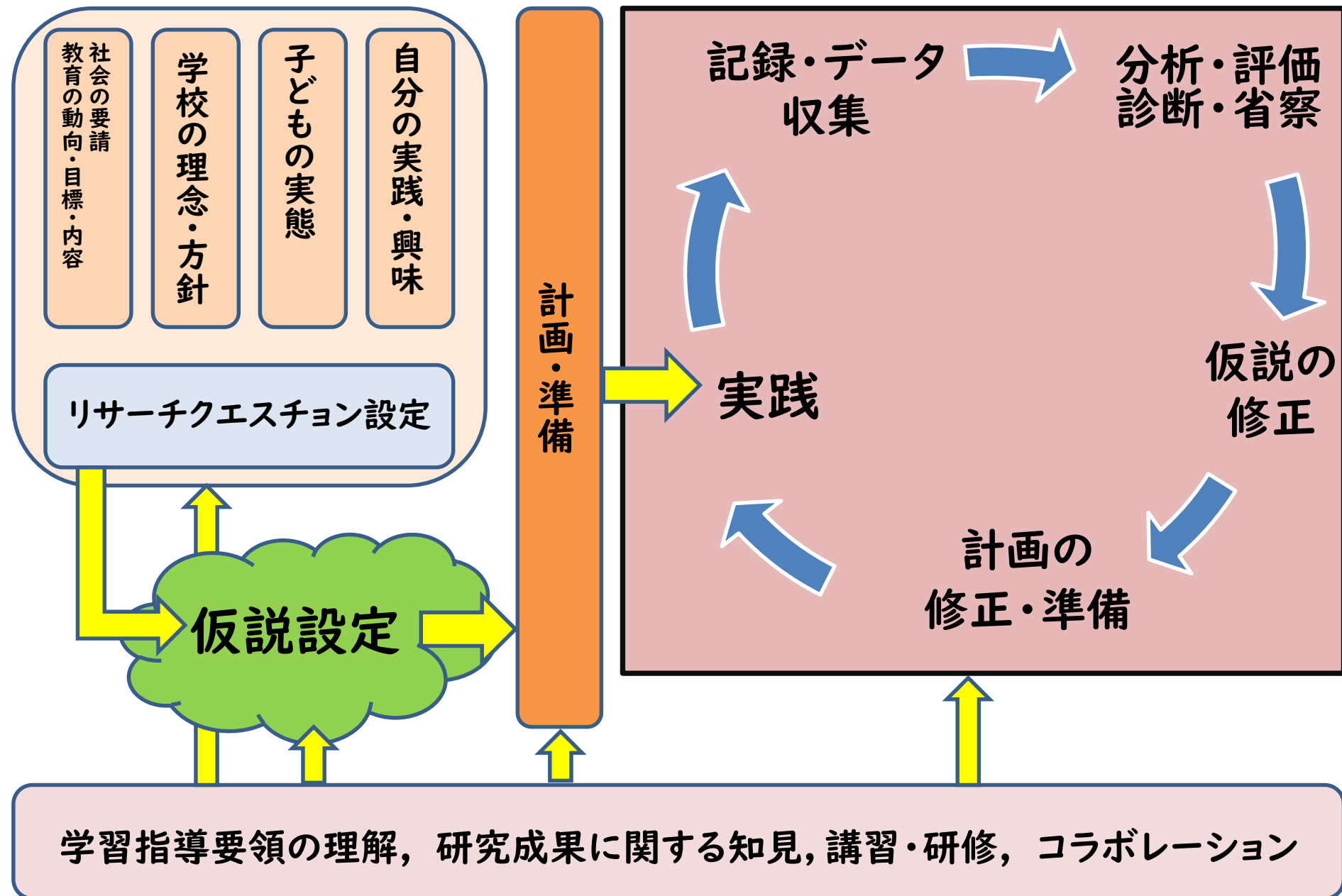
実践の場で行うアクションリサーチ

アクションリサーチとは

- 実践の改善
- 実践の理解の改善
- 実践の場の改善

現場で起こる問題や課題を明確にして、解決するために、現場の指導者である教員を中心として、研究者や同僚などと協働的に行われる実践的研究方法

授業研究イメージ



学びに向かう力, 人間性等

領域	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
運動系	・運動遊びに(①)に取り組む ・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・場の安全に(③)	・運動に(①)に取り組む ・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・友達の考えを認める ・場や用具の安全に(③)	・運動に(②)に取り組む ・約束を守り助け合って運動をする ・仲間の考えや取組を認める ・場や用具の安全に(④)
運動系	・運動遊びに(①)に取り組む ・順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・場や器械・器具の安全に(③)	・運動に(①)に取り組む ・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・友達の考えを認める ・場や器械・器具の安全に(③)	・運動に(②)に取り組む ・約束を守り助け合って運動をする ・仲間の考えや取組を認める ・場や器械・器具の安全に(④)
運動系	・運動遊びに(①)に取り組む ・順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・勝敗を受け入れる ・場の安全に(③)	・運動に(①)に取り組む ・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・勝敗を受け入れる ・友達の考えを認める ・場や用具の安全に(③)	・運動に(②)に取り組む ・約束を守り助け合って運動をする ・勝敗を受け入れる ・仲間の考えや取組を認める ・場や用具の安全に(④)
運動系	・運動遊びに(①)に取り組む ・順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・水遊びの心得を守って安全に(③)	・運動に(①)で取り組む ・きまりを守り誰とでも仲よく運動をする ・友達の考えを認める ・水泳運動の心得を守って安全に(③)	・運動に(②)に取り組む ・約束を守り助け合って運動をする ・仲間の考えや取組を認める ・水泳運動の心得を守って安全に(④)
運動系	・運動遊びに(①)に取り組む ・規則を守り誰とでも仲よく運動をする ・勝敗を受け入れる ・場や用具の安全に(③)	・運動に(①)に取り組む ・規則を守り誰とでも仲よく運動をする ・勝敗を受け入れる ・友達の考えを認める ・場や用具の安全に(③)	・運動に(②)に取り組む ・ルールを守り助け合って運動をする ・勝敗を受け入れる ・仲間の考えや取組を認める ・場や用具の安全に(④)
運動系	・運動遊びに(①)に取り組む ・誰とでも仲よく踊る ・場の安全に(③)	・運動に(①)に取り組む ・誰とでも仲よく踊る ・友達の動きや考えを認める ・場の安全に(③)	・運動に(②)に取り組む ・互いのよさを認め合い助け合って踊る ・場や用具の安全に(④)

領域	小学校第1・2学年	小学校第3・4学年	小学校第5・6学年	中学校第1・2学年	中学校第3学年
体づくり運動系	- 運動遊びに進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 場の安全に気を付ける	- 運動に進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 友達の考えを認める - 場や用具の安全に気を付ける	- 運動に積極的に取り組む - 約束を守り助け合って運動をする - 仲間の考えや取組を認める - 場や用具の安全に気を配る	- 体づくり運動に積極的に取り組む - 仲間の学習を援助しようとする - 一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする - 話し合いに参加しようとする - 健康・安全に気を配る	- 体づくり運動に自主的に取り組む - 互いに助け教え合おうとする - 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする - 話し合いに貢献しようとする - 健康・安全を確保する
器械運動系	- 運動遊びに進んで取り組む - 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 場の器械・器具の安全に気を付ける	- 運動に進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 友達の考えを認める - 場や器械・器具の安全に気を付ける	- 運動に積極的に取り組む - 約束を守り助け合って運動をする - 仲間の考えや取組を認める - 場や器械・器具の安全に気を配る	- 器械運動に積極的に取り組む - よい演技を認めようとする - 仲間の学習を援助しようとする - 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする - 健康・安全に気を配る	- 器械運動に自主的に取り組む - よい演技を譲えようとする - 互いに助け教え合おうとする - 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする - 健康・安全を確保する
陸上運動系	- 運動遊びに進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 勝敗を受け入れる - 場の安全に気を付ける	- 運動に進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 勝敗を受け入れる - 友達の考えを認める - 場や用具の安全に気を付ける	- 運動に積極的に取り組む - 約束を守り助け合って運動をする - 勝敗を受け入れる - 仲間の考えや取組を認める - 場や用具の安全に気を配る	- 陸上競技に積極的に取り組む - 勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする - 分担した役割を果たそうとする - 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする - 健康・安全に気を配る	- 陸上競技に自主的に取り組む - 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする - 自己の責任を果たそうとする - 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする - 健康・安全を確保する
水泳運動系	- 運動遊びに進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 水遊びの心得を守って安全に気を付ける	- 運動に進んで取り組む - きまりを守り誰とでも仲よく運動をする - 友達の考えを認める - 水泳運動の心得を守って安全に気を付ける	- 運動に積極的に取り組む - 約束を守り助け合って運動をする - 仲間の考えや取組を認める - 水泳運動の心得を守って安全に気を配る	- 水泳に積極的に取り組む - 勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする - 分担した役割を果たそうとする - 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする - 水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る	- 水泳に自主的に取り組む - 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする - 自己の責任を果たそうとする - 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする - 水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する
ボール運動系	- 運動遊びに進んで取り組む - 規則を守り誰とでも仲よく運動をする - 勝敗を受け入れる - 場や用具の安全に気を付ける	- 運動に進んで取り組む - 規則を守り誰とでも仲よく運動をする - 勝敗を受け入れる - 友達の考えを認める - 場や用具の安全に気を付ける	- 運動に積極的に取り組む - ルールを守り助け合って運動をする - 勝敗を受け入れる - 仲間の考えや取組を認める - 場や用具の安全に気を配る	- 球技に積極的に取り組む - フェアなプレイを守ろうとする - 作戦などについての話し合いに参加しようとする - 一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする - 仲間の学習を援助しようとする - 健康・安全に気を配る	- 球技に自主的に取り組む - フェアなプレイを大切にしようとする - 作戦などについての話し合いに貢献しようとする - 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする - 健康・安全を確保する
表現運動系	- 運動遊びに進んで取り組む - 誰とでも仲よく踊る - 場の安全に気を付ける	- 運動に進んで取り組む - 誰とでも仲よく踊る - 友達の動きや考えを認める - 場の安全に気を付ける	- 運動に積極的に取り組む - 互いのよさを認め合い助け合って踊る - 場の安全に気を配る	- ダンスに積極的に取り組む - 仲間の学習を援助しようとする - 交流などの話し合いに参加しようとする - 一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする - 健康・安全に気を配る	- ダンスに自主的に取り組む - 互いに助け合い教え合おうとする - 作品や発表などの話し合いに貢献しようとする - 一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする - 健康・安全を確保する

それぞれの「現場」で
どのような問題・課題を抱えていますか？
どのような研究興味を持っていますか？

社会の要請への
対応

教育の動向・目標・
内容の把握・具体化

学校の理念や
方針の具体化

児童・生徒
に関すること

自身の実践
に関すること

施設・設備
に関すること



授業研究イメージ

社会の要請
教育の動向・目標・内容

学校の理念・方針

子どもの実態

自分の実践・興味

リサーチクエスチョンの設定

計画・準備

研究的疑問

例 子どもたちの●●を伸ばしていくためにはどうすればよいだろうか？

仮説

例 ○○を◎◎する手立てを工夫することで、子どもたちの●●を伸ばしていけるであろう

仮説設定

学習指導要領の理解, 研究成果に関する知見, 講習・研修, コラボレーション

先行研究の読み込みや(批判的)検討, 研修, 指導主事の先生方や
研修仲間との意見・情報交換等を通して,

- 新たな知識, 方法を身に付ける
- 自分のこれまでの考えや方法を整理する
- 自分のこれまでの考えや方法を見直す
- 自分のこれまでの考えや方法を修正する
- リサーチクエスチョンを検討, 設定する
- 研究の枠組み, 実践の内容, データ収集・分析
方法実践や成果の実現性を検討し, 仮説を
設定する

アクションリサーチの特徴

コラボレーション

現場の教師を中心とし，大学・研究機関の研究者，同僚などによるプロジェクトチーム

実験的研究とは異なる

実験的なものではなく現場の問題を取り上げる状況により予定・計画は変更される長期的アプローチをとる

データ収集と考察

質的・量的データが多角的に収集され，解釈が求められる

アクションリサーチの意義・有効性

***通常の授業を一時停止して、実験的に研究に専念することは不可能**

***研究者による授業研究の成果を取り入れようとしても、指導者それぞれのスタイル、学習者の特性、学校の状況、学校を取り巻く環境などは異なる（検討はすべき）**

***普段の自分の教育現場・実践を対象とし、教育者・指導者としての資質向上を図る**

***教員が学び続け、進化し続けることは、学習者への動機付けにもつながる**

代表授業研

異なる現実の中で、異なる地域・校種の先生方が集まり、指導主事の先生のファシリテーションにより授業を省察し、知の共有を図り、それぞれの

「実践の改善」

「実践の理解の改善」

「実践の場の改善」

を図ります。

それがまた新たな知の共有→学びや力量の広がりにつながります。

点

本時の指導案や授業
観察のみからの解釈

線

研究構想や単元計画
を加えた解釈

面

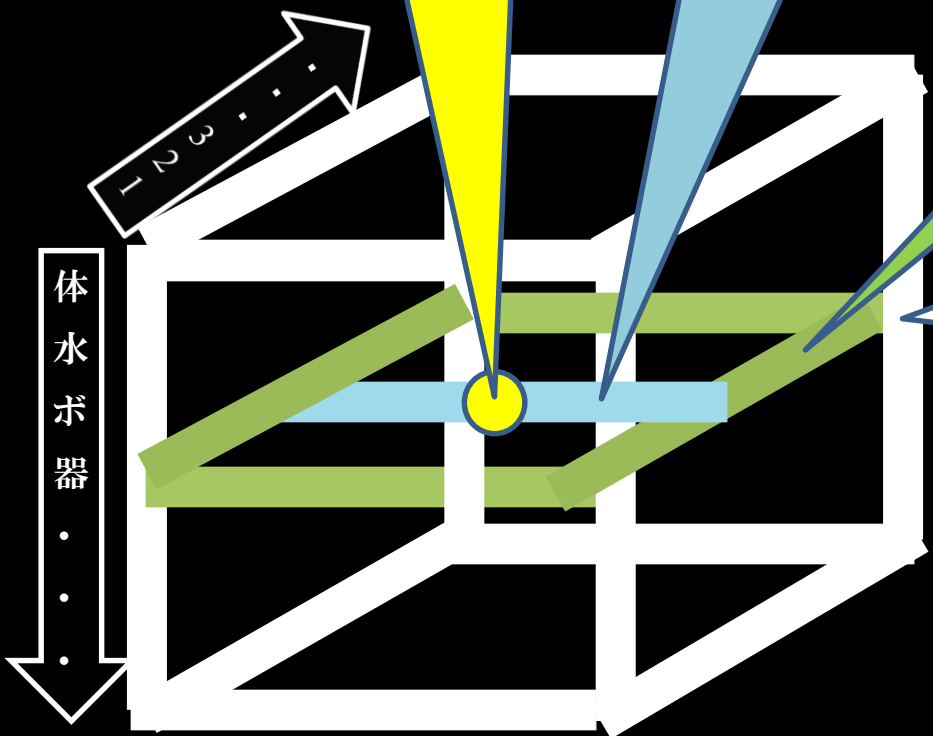
学年や校種の異なる教員
による視点

立体

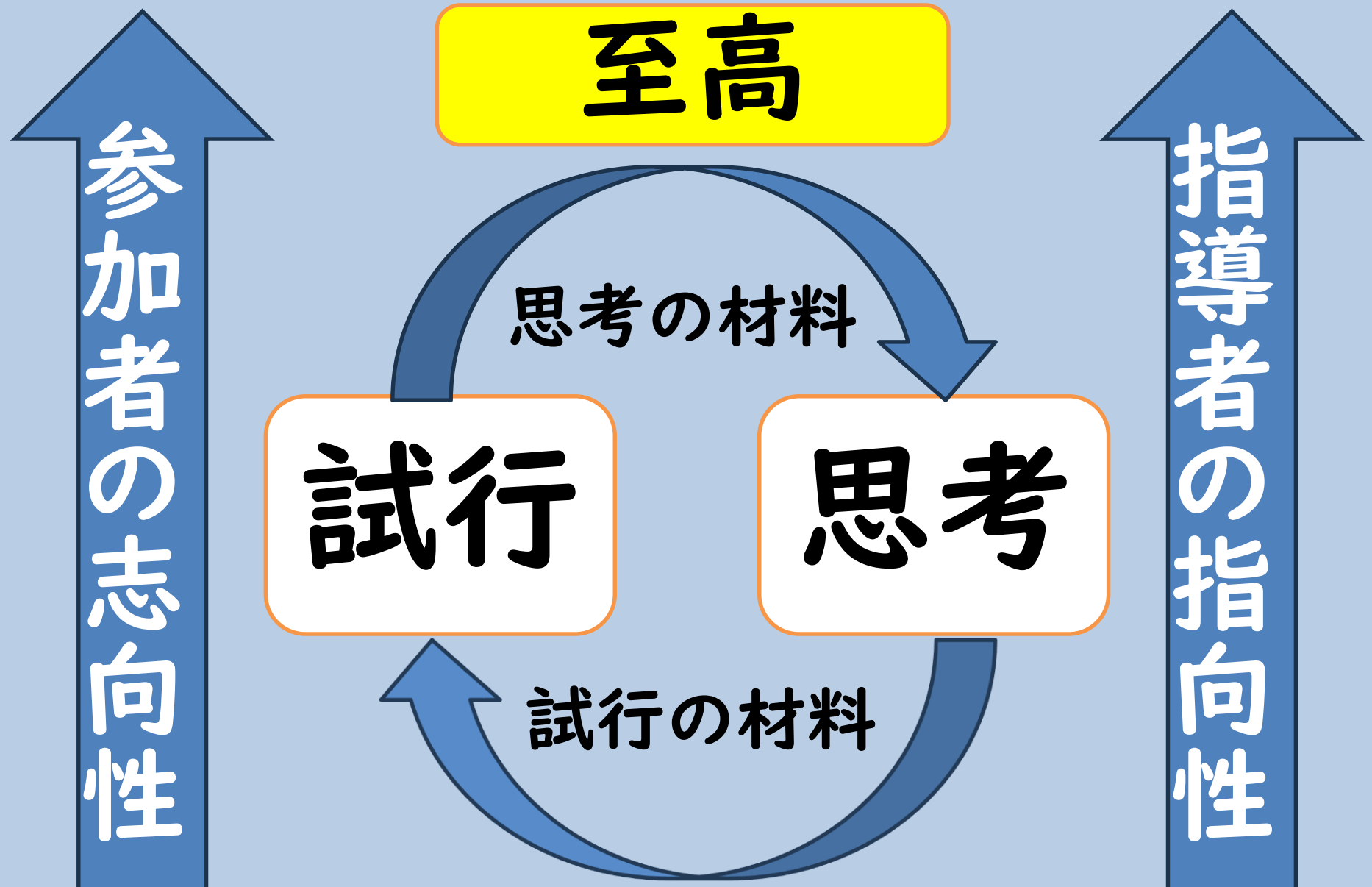
それぞれの学校での
実践に活かしていく

同じ領域・種目だけ
でなく、異なる領域や
種目への広がりを探
めて

体
水
ボ
器
・
・
・



授業づくり・実践における「しこう」



小学校	
H28年度	自ら考え、運動の楽しさを味わう子どもを育てる体育科学習指導：ゲーム・ボール運動領域における仲間と協力して作戦を考える活動を通して
	運動の楽しさを味わう子どもを育てる体育科学習指導：フラッグフットボールにおける作戦ボードと作戦カードを使った学習を通して
	進んで運動を「する・見る・支える」子どもを育てる体育科学習指導：学び合い活動を位置付けた活動構成の工夫を通して
	自らの目標に向かって進んで活動する子どもを育てる体育科指導：子どものニーズに応える適切な場づくりを通して
	仲間と共に学び、運動する楽しさを味わう子どもを育てる体育科学習指導：ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかる」「できる」授業づくりを通して
	「できた!」楽しさを味わう子どもを育てる体育科学習指導：器械運動領域における教え合い活動を位置づけた学習活動の工夫を通して
H29年度	自らの伸びを実感し、投げる力を高める体育科学習指導：見通す・振り返る学習活動と協働的な学習活動の工夫を通して
	よりよい動きを求めようとする子どもを育てる体育科学習：仲間と関わり合う活動を通して
	全ての児童が『深い学び』の中で各々の運動意欲・運動技能を向上させる体育科学習指導：理想を追い求められるゴール像』の設定と『グループタイムレベルアップ計画』に基づく器械運動の授業実践を通して

	仲間と協力し、運動の喜びを味わう子どもを育てる第6学年体育科学習指導：ボール運動（ゴール型）における学び合い活動の工夫を通して
	友達と協力して課題を解決し、運動を楽しもうとする子どもを育てる体育科学習指導：チェックシートによるCCタイムを位置付けた学習過程の工夫を通して
	「できた」喜びを味わう子どもを育てる体育科学習指導：器械運動領域におけるICT機器を活用した授業づくりを通して
H30年度	仲間とともに運動する楽しさを味わう子どもを育てる体育科学習指導：協働的課題解決学習に関わる活動を通して
	自ら運動に関わり、運動の楽しさを味わう子どもを育てる第3学年体育科リズムダンス学習指導：学習意欲を持続させる学習展開と交流活動の工夫を通して
	主体的に運動の楽しさを味わう子供を育てる体育科学習指導：子どもお自身が必要と感じる「かかわり活動」を位置付けた授業を通して
	仲間と共に主体的に運動に関わる児童を育てる高学年陸上運動の指導：3つのしこう（志向, 思考, 試行）活動を展開するための工夫を通して
	主体的に運動に取り組む子どもを育てる体育科学習指導：思考と試行を繰り返した授業づくりを通して
	自己の課題を見つけ、よりよい動きを求めようとする力を育てる体育科学習指導：ボール運動（ゴール型）における友だちと関わり合う活動を通して
R元年度	マット運動における、主体的に技能を高める子供を育てる高学年体育科学習指導：思考活動を位置付けた学習過程の工夫を通して
	運動の楽しさを実感し、意欲的に運動に親しむ子供を育てる体育科学習指導：友達と関わり合い、課題を追求するボール運動系（ゴール型）の学習過程を通して

	分かってできる子供を育てる体育科学習指導：知識の習得及び活用に重点をおいた機械運動の取組を通して
	自ら課題を見つける子供を育てる器械運動指導：学習過程の工夫と課題解決のための支援の工夫を通して
	自ら課題を見つけ、運動の楽しさを味わう子供を育てる体育科学習指導：仲間とともに学び合う活動を通して
R3年度	運動の楽しさを味わう子どもを育てる第一学年体育科「ボールゲーム」の学習指導：学ぶ意欲を高める学習活動の工夫を通して
	目指す動きを身に付けた子供を育てる第3学年マット運動の学習指導：ペアで教え合う課題解決活動を通して
	課題の解決に向けて意欲的に運動に取り組む子供を育てる第5学年バスケットボールの学習指導：3段階の活動構成の工夫を通して
	主体的に運動課題に取り組む子供を育てる第5学園跳び箱運動の学習指導：技のポイントを意識した学び合いを通して
	楽しく運動に取り組む児童を育てる体づくりの運動遊びの学習指導：心も身体も弾むリズムジャンプを取り入れた、個別最適な学びを通して
	動きを高めながら、運動の喜びを味わう児童を育てる器械運動の学習指導：学び合い活動の工夫を通して
R4年度	仲間と関わりながら動きを高める子どもを育てる第6学年体育科教育：段階的な評価活動を取り入れた学習過程の工夫を通して
	記録に挑む楽しさを味わう子どもを育てる第6学年走り高跳びの学習指導：課題解決につながる場の工夫を通して

	跳躍力を向上させる子どもを育てる第5・6学年走り幅跳びの学習指導：課題解決に向けた学び合いを通して
	運動する楽しさを味わう子どもを育てる鉄棒を使った運動遊びの学習指導：他者と協働する活動を通して
	楽しみながら体の動きを高める子どもを育てる体づくり運動の学習指導：4段階の単元構成の工夫を通して
	運動の楽しさを実感する子どもを育てる第3学年体育科学学習指導：動きを可視化した振り返り活動を通して
R5年度	他者と協力しながら運動する楽しさを味わう子どもを育てる第4学年体育の学習指導：チームミーティングを位置付けた活動構成の工夫を通して
	運動の持つ楽しさを味わう子どもを育てる第1学年における鉄棒運動遊びの学習指導：「発見タイム」を位置付けた単元構成の工夫を通して
	元気はつらつな子供を育てる第5学年体育科学学習指導：課題解決への動機の高まりに応じた教材化と支援を通して
	主体的に自己の運主体的動課題を解決する子供を育てる第5・6学年器械運動指導：ループリック表を活用した学習活動を通して
	共に学び合い、運動の楽しさを味わう子どもを育成する第6学年ボール運動ネット型の学習指導：「ベストトークタイム」を位置付けた学習活動を通して：パワーアップタイムを位置付けた単元構成を通して
	意欲的に課題解決に取り組む子供を育てる体育科指導学習指導：パワーアップタイムを位置付けた単元構成を通して
	運動に対する意欲をもち続ける子供を育てるマットを使った運動遊びの学習指導：「挑戦タイムⅠ・Ⅱ」と「きらりタイム」を位置付けた活動構成を通して

R6年度	楽しさを味わいながら運動を追求する子どもを育てる第6学年ゴール型学習指導：3つの段階に応じた場の設定と教師の支援を通して
	「やってみた」「できた」を実感する子どもを育てる1年生体づくりの運動遊び：自分で遊び方を工夫する「一人タイム」を位置付けた課題解決学習を通して
	主体的に運動をつくる子どもを育てる体育科学学習指導：デジタルポートフォリオを活用した振り返り活動を通して
	仲間とともに、課題を解決しようとする児童を育てる中学年体育科学学習指導：「レベルアップタイム」を位置付けた活動構成の工夫を通して
	関わりの中で体力の向上を実感する子供を育てる第5学年ボール運動の学習指導：ICTを活用した3つの機会のアタッチメントタイムを通して
	動きのイメージをつくることができる子どもを育てる第6学年跳び箱運動の学習指導：自分のコツがわかる・みつかる動きの感覚を味わう場を通して
	チーム全体で成果を共有する喜びを味わう児童を育成する第4学年体育科ボール運動の学習指導：感謝の気持ちを伝えよう！チームメイトへの思いやりを育む学習活動を通して

中学校	
H28年度	運動有能感を高める保健体育科学習指導：デッサン人形を活用したアドバイス活動を通して
H29年度	意欲的に球技運動に取り組む生徒を育てる保健体育科学習指導：簡易ゲームを通して
	「わかった」「できた」喜びを実感できる武道（剣道）学習指導：協働的問題解決学習を位置づけた授業づくりを通して
H30年度	学びを深め、動きの高まりを実感できる保健体育科学習指導：課題解決学習過程におけるICTの活用を通して
	武道（柔道）領域における、自らが運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育てる保健体育科学習の在り方：生徒指導の3つの留意点を位置付けた授業を通して
	生涯にわたり、仲間とともに主体的に運動やスポーツに親しむ資質・能力を育む保健体育科学習指導：運動量を確保し、できた喜びを実感できる授業づくり
R元年度	思考力・判断力・表現力を高める創作ダンスの指導：「つなぐ」ことに視点をあてた3つの対話活動を通して
	運動の課題解決力を身につける生徒を育てる保健体育科学習指導：ICTの活用を通して
R3年度	合理的な解決に向けて思考し判断する生徒を育てる球技（バスケットボール）の学習指導：視点を明確にした交流を通して

	空間を意識した動きを高める球技(バスケットボール)の学習指導:自分の思考を広げる交流活動を通して
R4年度	健康・安全に対する課題を発見し,健康的な生活に取り組む生徒を育てる保健の学習指導:生活を振り返り,自己の思考を広げる交流活動を通して
	わかった・できたを実感できる武道(柔道)の学習指導:振り返りと効果的なICTの活用を通して
	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい,積極的に運動に取り組む生徒の育成を図る球技指導:話し合い活動の充実を通して
R5年度	仲間と協力し合い,勝敗を競う楽しさを味わう生徒を育てる球技の学習指導:話し合い活動を通して
	意欲的に剣道の学習に取り組む生徒を育てる保健体育科学学習指導:pointgetシートの活用を通して
	「わかった」「できた」を実感できる器械運動(マット運動)の学習指導:課題解決に向けた教えあい活動を通して
R6年度	学習者が自ら学習を調整することを目指した球技(ネット型・バレーボール)の学習指導:「スモールステップタイム」を位置付けた課題解決学習を通して
	仲間と学び合い,積極的に運動に取り組む生徒を育てる球技の学習指導:活発な話し合い活動「ミーティングTIME」を通して

特別支援学校	
H28年度	知的障害特別支援学校における滑らかな動きができる生徒を育てる体育科学習指導の在り方:リズムアナログンを取り入れたフットベースボールの取り組みを通して
H30年度	知的障がいのある生徒の投げる動きを高める保健体育科学習指導:運動アナログンを取り入れた活動構成の工夫を通して
R元年度	仲間と関わりながら主体的に運動する児童を育む体育科学習指導:体づくり運動と話し合い活動を通して
R3年度	ヘルスプロモーションを意識できる生徒を育てる保健の学習指導:トレーニングシートの活用を通して
R4年度	「楽しい・できた」を実感できる生徒を育てる中学部体づくり運動:仲間とともに楽しむチャレンジ活動を通して
R6年度	球技の楽しさを味わう生徒を育てる保健体育科学習指導:ルールや用具の工夫とミーティングタイムを通して

高等学校	
H28年度	「主体的に課題解決に取り組む生徒」を育てるバドミントンの学習指導：コミュニケーション活動を通して
	運動の楽しさを味わうことができる子どもを育てる武道（剣道）学習指導：攻守の場面を分けたルール工夫を通して
	知識を活用して自らのスポーツライフを創造しようとする生徒を育てる体育理論の学習指導：アクティブラーニング型授業を展開して
H29年度	知識を競技の場に生かそうとする生徒を育てる体育科学学習指導の工夫：「スポーツ概論」におけるモデルケースと 自己との比較を通して
	運動課題を解決して仲間に貢献できる生徒を育てるネット型球技学習指導：ICTと兄弟チーム制を活用したグループ活動を通して
H30年度	生涯にわたり仲間とともに主体的に運動やスポーツに親しむ資質・能力を育む保健体育科学習：知識をつなぐ学習活動とICTを活用した協働的な学びを通して
	生涯にわたり、仲間とともに主体的に運動やスポーツに親しむ資質・能力を育む保健体育学習：体育理論と体育の領域の関連に着目した授業づくり
R元年度	主体的に運動やスポーツに親しむ資質・能力を育む保健体育学習：表現力を高める指導方法の改善に着目した授業づくり
	発信力を育てるバドミントンの学習指導：ICTやジグソー法の活用を通して
	主体的に運動やスポーツに対する学びを深める資質・能力を育む体育科学学習指導：ICTを活用した協働的課題解決学習を通して

R3年度	健康課題について考えを深めることができる生徒を育てる保健の学習指導:ICTを活用した学習活動を通して
	主体的に運動に取り組む生徒を育てる球技・ネット型「テニス」の学習指導:全員が活躍できる学び合いを通して
	運動の楽しさや喜びを味わう生徒を育てる球技(サッカー)の学習指導:動きを分析する活動を通して
R4年度	他者に伝えることができる生徒を育成する体づくり運動の学習指導:ステップアップ表現活動を通して
	他者を支える生徒を育成するための球技の学習指導:学習シートを用いた話し合い活動を通して
R5年度	健康を支える環境づくりについての課題を解決することができる生徒を育てる科目保健の学習指導:グループ活動とecoチェックシートの活用を通して
	「できた・楽しい」を実感できる生徒を育てる球技(ベースボール型)の学習指導:リズム運動と振り返り活動を通して
R6年度	笑顔でハツラツと取り組む1学年生徒の球技(ネット型・バドミントン)の保健体育科学習指導:リズムジャンプを活用した学習活動を通して
	「成長」を実感できる可視化を重ねた楽しい体育の学習指導:のびしろ無限大シートの活用を通して

児童・生徒の実態, 自身の実践の振り返り→主題設定

例

(小1) 活動や取り組みがうまくいかなかった際、「なぜ、そうするのか」「どうしたら、できるのか」と考えるよりも先に「どうやるといいのかうまくいく方法をすぐに人に聞く」という言動が多く見られる。

→「やってみた」「できた」実感し、自ら思考し、課題を解決する児童を育てることは意義深い

例

(中学年)「運動を得意だと思うか」という質問に対し、得意と答えた児童は5割程度。「友達に自分の考えを伝えたり、動き方をたずねたりするか」という質問に対しても5割程度。理由として、「苦手だから話さない」「話すことがない」。これは、児童が友達と話し合いをする必要感がないことが原因だと考えられる。また、これまでに友達と話し合うことを通して技能や動きの高まりを感じた経験が少ないことが原因だと考えられる。

→仲間とともに、課題を解決しようとする児童を育てることが重要であると
考え主題を設定した

主題の設定

「やってみた」
「できた」を
実感

仲間とともに
課題を解決
しようとする

チーム全体での
成果を共有する
喜びを味わう

主体的に
運動をつくる

関りの中で
体力の向上を
実感する

楽しさを味わい
ながら運動を
追求する

主題の設定

動きのイメージを
つくること
ができる

自ら学習を
調整する

仲間と学び合い、
積極的に運動に
取り組む

笑顔で
ハツラツと
取り組む

自分の成長を
実感できる

球技の
楽しさを
味わう

仕組みと仕掛け

仕組み：何かを動かすための土台となるもの
構造や骨組み

仕掛け：その構造や骨組みを使って思うよう
な動きにするための工夫

仕組んだことは仕掛ける

仕掛けなしでは仕組みは機能しない

仕組み→仕掛ける 例

トライタイム

- ・一人タイム
- ・みんなタイム
- ・一人みんなタイム

レベルアップタイム

- ・目標が明確に捉えられる資料
- ・動きを言語化し、共有するための資料

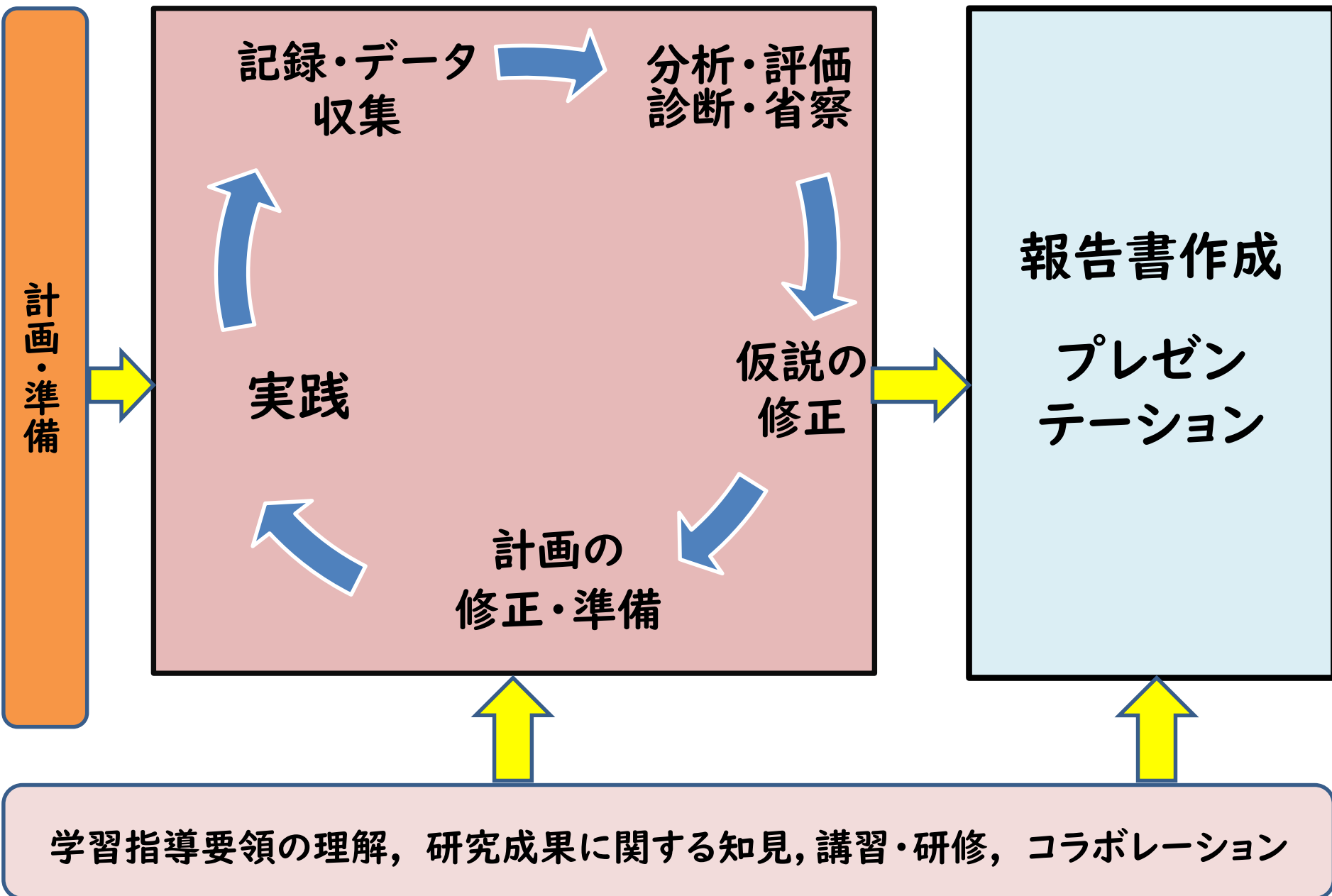
スモールステップタイム

- ・3つの場づくり
- ・複数の教具
- ・ループリック表

ミーティングタイム

- ・ミーティングカード
- ・約束および流れの確認
- ・ふりがなつけ

授業研究イメージ



授業研究イメージ

報告書作成
プレゼン
テーション

- ・実践の成果や課題等を明らかにする
- ・見てもらう, 聞いてもらう, 読んでもらう
のベストミックスのプレゼンテーション

- ・明らかにした成果や課題等から,
次の実践に向けて

学習指導要領の理解, 研究成果に関する知見, 講習・研修, コラボレーション

例（中2）練習の際に困り感があった生徒や課題解決に直接的につながらない練習をしている生徒は、自他の課題を十分に把握できていないことが要因の一つと考えられる。
今後は技のポイントなどの知識を習得させたり、課題発見の視点をより明確にしたりするなど、課題発見に至る手立てをより綿密に考えていきたい。

例（高1）本時の目標が「ドライブを打てるようになろう」の際、生徒の振り返りに「スマッシュをもっと打てればよかった」という反省が記述されていたことがあり、教師の目標と生徒の目標にズレがあることがわかった。本時の目標と、身に付けさせたい技能を理解させるために、共通した目標や技能ポイントを可視化することで、生徒にもっと明確で丁寧に説明を行うことができたと考えられる。

断研では

**「研究授業」ではなく、
「授業研究」を行ってください**

予定調和的に成果が記述される実践報告ではなく、
結果（成果と課題）に対して信頼できる授業研究を

互いの「実践の知」を共有し、広げ、深めましょう